

## 2018年第1期2課 見て、欲して、手に入れる 1月13日

### A 繁栄の福音 2 コリント 8:2-4.

- ❖ 「繁栄の福音」は「神様に従いなさい。そうすれば神様は地の産物を豊かに与えてくださる。」ということである。この動機はコリントの人たちや貧しいやもめの動機と全く異なっている。(マルコ 12:41-44)
- ❖ 神様は私たちに物質的祝福を注ぐことができになる。しかし私たちが神様に何かを捧げるから祝福してくださるのではない。
- ❖ 神様は何か見返りを求めて捧げる人ではなく、喜んで捧げる人を愛される。(2 コリント 9:7)

### B 食欲の3段階(ヤコブ 1:15):

#### ❖ 見る(願う) 2 コリント 4:18

- ポテパロの妻はヨセフを見た時食欲に心を奪われた。(創世記 39:7 私たちの最初の 防御策は欲望を起こすものから目を背けることである。
- 種まきのたとえでイエスさまは、いばらの中に落ちた種は「世の心づかいと富の惑わし」とに心を塞がれたと言っておられる。(マタイ 13:22)
- 貧しいものは十分でないので心配する。富める者はもっと欲しくて心を使う。

#### ❖ 欲しがる(心に抱く) 創世記 3:6

- 物質主義は新しい必要を作り出し、それを満足させる方法を提供する。
- それはエデンで成功した。もう一つの例はアハブである。アハブは隣人のぶどう園を見て、それを欲しいと思った。それを手に入れるまで騒ぎ立てた。(I 列王 21).
- 必要と欲望、必需品と好物、必需品と装飾品をどのように見分けたらよいだろうか。

#### ❖ 手に取る(実行する) マタイ 26:14-15

- 食欲が心に住みつくと、私たちは欲しいものを得る方法を絶えず求める。
- このことはエバ、アハブ、ユダに起きた。これはまた、国々や部族間の争いや、家族や人々の没落の原因でもある。
- 心に食欲が入った時、それを認識することが重要である。そうすれば、その時点で悔い改めることができるだろうし、食欲が将来行動に発展する恐ろしい結果を避けることができるだろう。

### C 自制 2 ペテロ 1:5-6.

- ❖ 聖書研究、祈り、クリスチャンの奉仕は、食欲のような生まれつきの傾向に対する防壁を築くことができる。満足や寛大さもまた食欲と戦う武器である。
- ❖ ペテロは私たちが自制を持つように勧めている。私たちはすべての思い、感情、力を神様の御手に委ねなければならない。
- ❖ 罪に勝利することは私たちの中におられる神様の働きである。それゆえ、私たちは神様に私たちが支配していただかなければならない、そうすれば神様は食欲を満足に変えてくださる。